

学生、保証人 各位

## 2021 年度の授業方針について

学長 吉田 宗平

謹啓

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大という今までに経験したことのない状況に直面しました。本学では、学生の皆さんの安全を最優先して確保するため、4 月から課題を課した自己学修を開始し、5 月からはメディアを利用した遠隔授業（オンライン授業、オンデマンド授業）に移行致しました。6 月以降は、対面授業と遠隔授業を適宜併用した形式を取っています。学生の皆さんには、これまでとまったく異なる授業状況に戸惑う場面も多かったかと思えます。本日までの学生ならびに保証人の皆様のご理解とご協力に対しまして、改めて御礼申し上げます。

本学での学びを充実するには、対面授業による実践的な授業が重要であることは疑う余地がありません。しかし、現在もなお新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない状況を考えますと、2021 年度につきましても、引き続き、大学のキャンパスで行う対面授業とメディアを利用した遠隔授業を有効に組み合わせたハイブリッド形式で授業を行う必要があると考えております。

その禍中におきましても、建学の精神にもありますように、「社会に役立つ道に生き抜く」医療人を育成する観点から、以下の科目については対面授業を積極的に取り入れ、人間としての「奉仕の精神」を失わない教育を行いたいと思っております。

- 1) 大学での主体的な学びを深める学修スキルを身につける科目
- 2) 演習科目、実習科目のような医療専門技術を学ぶ科目
- 3) 医療系資格の国家試験に関連する科目

対面授業の実施に当たりましては、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間は、厚生労働省による「新しい生活様式」に基づく感染防止策と本学独自の各学科の状況に合わせた感染防止ガイドラインを共に遵守して、教室や学生食堂等の施設利用に関して適切な感染防止対策を講じ、学生生活の新しいスタイルを作りたいと思っております。本学では、引き続き学生の皆さんの安全と本学の教育内容の充実が図れるよう、教職員が一丸となって尽力致しますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、万一、新型コロナウイルス感染症が一層拡大するなどの理由で対面授業が困難な状況になった場合は、速やかに遠隔授業に切り替える対応を取るなど、上記方針を変更せざるをえなくなる場合、すみやかに連絡を差し上げたいと考えております。

師走に入り、寒さも一層厳しさを増してまいりました。年末年始に向けて、皆さまどうぞご自愛くださいますようお願い致しますとともに、皆さまとご家族のご健康を祈念申し上げます。

謹白